

日本福祉大学社会福祉学部卒業(1990)、近畿大学法学部卒業(1999)、日本福祉大学大学院社会福祉学研究科修了(1992)、飯塚市役所(1992～1999)、久留米大学文学部助手(2000～2005)、日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター実習教育講師(2005～2006)、助教(2007～)、日本福祉大学赴任(2007)。

【研究分野】

公的扶助論，社会福祉実習教育。

【キーワード】

自立支援，生活の再構築，身体感覚，演劇的知，社会人の特性。

【担当授業科目】

通信教育部：公的扶助論，社会福祉援助技術論Ⅰ，社会福祉援助技術現場実習，社会福祉援助技術現場実習指導，社会福祉援助技術演習，相談援助実習，相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ，相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ。

【主な研究テーマ】

1. 福祉事務所における生活保護ケースワーク

生活保護法の見直し論議の中で，生活保護制度の今日的意義を明らかにすること。法の目的を達成するために，公的な責任として福祉事務所のケースワーカーが取り組むべきケースワーク実践を再検討する。

2. 社会福祉実習教育における自己認識

社会福祉実習教育において，身体的活動やロールプレイ等の「演じる」活動とそのふりかえりを通して，学生自身が自己の心身の動きを意識化するプロセスを構造的にとらえる。援助者となりゆく自己を意識しながら役割を担い，表現する力の獲得をめざす。

【主な研究業績】

<著書>

- 『社会福祉専門職論』，共著，「第2章 介護保険制度下の現場（地域包括支援センター）」pp. 28-39，中央法規出版，2007. 07.
- 『21世紀の社会福祉実践－何を守り，何を切り拓くのか（上）－』，共著，「養護老人ホーム民営化反対の取り組み」pp. 60-69，あけび書房，2003. 04.
- 『真の公的介護保障めざして』，共著，「6章 ホームヘルプ整備の遅れと補助金制度の問題点」pp. 181-195，あけび書房，1998. 04.
- 『社会福祉士受験ワークブック2010[専門科目編]』総頁517p，共著，「就労支援サービス」pp. 439-470，中央法規出版，2009. 07.

- 『社会福祉士・精神保健福祉士受験ワークブック2010[共通科目編]』総頁530p，共著，「福祉行財政と福祉計画」pp. 261-301，「社会保障」pp. 303-367，「低所得者に対する支援と生活保護制度」pp. 369-410，中央法規出版，2009. 07.

<論文>

- 「社会福祉援助技術現場実習における分散型実習効果の分析－通信教育における実習形態の現状分析から－」，『2005年度日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター年報』第3号，共著，日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター，2006. 04，pp. 89-94.
- 「余暇・生活文化推進モデル計画調査」，『飯塚ボランティアに関する意識調査』，単著，2003. 04.
- 「介護保険における所得階層別サービス利用状況」，『久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編』創刊号，単著，2001. 03.

<その他>

- シリーズ 連携社会福祉法人② 提携社会福祉法人を訪ねて－社会福祉法人 岡山中央福祉会－，『NFU 日本福祉大学評論誌』第60号，2010. 03，総頁107pのうちpp. 70-74.
- <シンポジウム> 日本福祉大学社会福祉学会第40回大会シンポジウム「社会福祉実践者に求められること－社会福祉実践力を高めるために」，『福祉研究』100号，2009. 10，総頁239pのうちpp. 41-62.

【所属学会】

全国公的扶助研究会(1996～)，日本社会福祉学会(2000～)，日本社会福祉教育学会(2006～，事務局次長2006～)。

【社会における活動と仕事】

社会福祉法人むそう(評議員2007～2009，監査2009～)。

【資格】

- 社会福祉士，1990. 05.